

たかおか

市議会 だより

No.33 12月定例会号
平成26年(2014年)2月1日発行

議会の新しい構成	2P
議員紹介	3P
12月定例会のあらまし	4P
代表質問	6P
個別質問	7P
総括質問	10P
委員会の動き	12P



上手につないだなが〜いロールケーキを振る舞う

写真提供：伏木写友会

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



議会の新しい構成決まる



青木議長

曾田副議長

議長に青木 紘氏

副議長に曾田康司氏

監査委員に館 勇将氏

新議長、抱負を語る

「平成25年4月に施行された議会基本条例及び議員政治倫理条例に基づき、市民に親しまれ、活力ある開かれた議会を目指し議会運営に努めていきたい。」

また、現在、本市においては、27年春の新幹線開業に向けた新高岡駅周辺整備等数々の大型事業に取り組んでいるが、それら大型事業に埋もれることなく充実した福祉社会の構築を目指したい。今後も本市の将来像をしっかり描きながら、多様化する住民ニーズを的確に捉え、市民、議会そして市当局が一丸となって元気なふるさと高岡の実現に向けて努力していきたい。」と就任に当たり、青木議長が抱負を語りました。

青木議長

副議長、決算特別委員長、水道病院決算特別委員長などを歴任

曾田副議長

総務文教常任委員長、民生病院常任委員長、決算特別委員長などを歴任

11月20日に改選後初の臨時会（組織議会）を開き、正副議長の選挙や議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の委員の選任などを行いました。

「議会の構成」は表のとおりです。

役職名		氏名					
議長		青木 紘					
副議長		曾田 康司					
議会運営委員会委員		◎酒井 立志 金森 一郎 盤若 進二	○川島 国 四十九清治 山沼 茂敏	石須 大雄 高 義一	福井 直樹 樋 詰	福井 直樹 起也	
常任委員会委員	総務文教	◎狩野 安郎 青木 紘	○野上 達夫 樋 詰和子	横田 誠二 盤若 進二	福井 直樹 起也	福井 直樹 起也	
	民生病院	◎永森 茂 曾田 康司	○中山 欣一 川島 国	藪中 一夫 金平 直巳	安カ川 武憲 荒木 泰行	安カ川 武憲 利麻	
	経済消防	◎吉田 健太郎 高 義一	○酒井 立志 大井 正樹	石須 大雄 館 勇将	福井 直樹 本 田	坂林 永喜	
	建設水道	◎水口 清志 上田 武	○金森 一郎 四十九清治	中川 加津代 山沼 茂敏	坂林 永喜	坂林 永喜	
特別委員会委員	港湾対策	◎荒木 泰行 中山 欣一 高 義一	○石須 大雄 金森 一郎	横田 誠二 狩野 安郎	安カ川 武憲 水口 清志	安カ川 武憲 清志	
	新幹線・公共交通対策	◎大井 正樹 本田 利麻 館 勇将	○川島 国 上田 武 山沼 茂敏	藪中 一夫 四十九清治	中川 加津代 樋 詰和子	中川 加津代 樋 詰和子	
	歴史文化・広域観光対策	◎盤若 進二 吉田 健太郎 起也	○永森 茂 福井 直樹	坂林 永喜 酒井 立志	野上 達夫 金平 直巳	野上 達夫 金平 直巳	
監査委員	館 勇将						
農業委員会委員	水口 清志						
広報広聴委員会委員		◎川島 国 安カ川 武憲 金平 直巳	○水口 清志 野上 達夫 樋 詰和子	横田 誠二 中山 欣一	藪中 一夫 金森 一郎	藪中 一夫 金森 一郎	

◎…委員長 ○…副委員長

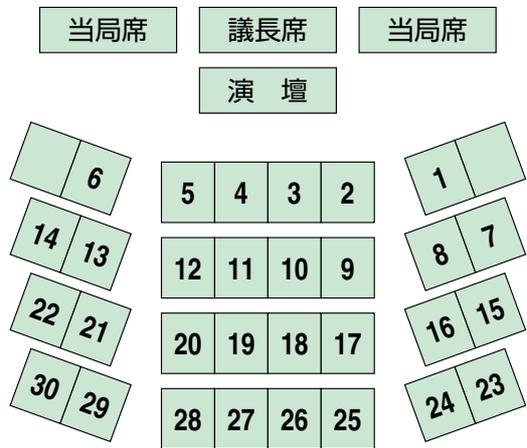
議員紹介

議席順

- ① 住所
- ② 所属党派
- ③ 当選回数(合併後)

<p>① 大野</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>中川加津代</p>	<p>① 中田</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>安力川武憲</p>	<p>① 荻布(旭ヶ丘)</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>藪中一夫</p>	<p>① 美幸町一丁目</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>横田誠二</p>	<p>① 伏木中央町</p> <p>② 社民党議員団</p> <p>③ 3回</p>  <p>石須大雄</p>
<p>① 醍醐</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>本田利麻</p>	<p>① 福岡町下糞新</p> <p>② 市政高岡</p> <p>③ 2回</p>  <p>中山欣一</p>	<p>① 五十里東町</p> <p>② 公明党</p> <p>③ 2回</p>  <p>吉田健太郎</p>	<p>① 戸出町六丁目</p> <p>② 社民党議員団</p> <p>③ 2回</p>  <p>野上達夫</p>	<p>① 野村</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>坂林永喜</p>
<p>① 角</p> <p>② 社民党議員団</p> <p>③ 3回</p>  <p>上田 武</p>	<p>① 横田町二丁目</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>曾田康司</p>	<p>① 城東二丁目</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>金森一郎</p>	<p>① 五福町</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 2回</p>  <p>永森 茂</p>	<p>① 西藤平蔵</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 1回</p>  <p>福井直樹</p>
<p>① 福岡町上野</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>水口清志</p>	<p>① 福岡町荒屋敷</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>川島 国</p>	<p>① 守護町一丁目</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>狩野安郎</p>	<p>① 姫野</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>酒井立志</p>	<p>① 手洗野</p> <p>② 市政高岡</p> <p>③ 3回</p>  <p>四十九清治</p>
<p>① 通町</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>盤若進二</p>	<p>① 金屋町</p> <p>② 公明党</p> <p>③ 3回</p>  <p>樋詰和子</p>	<p>① 佐野</p> <p>② 日本共産党</p> <p>③ 3回</p>  <p>金平直巳</p>	<p>① 福岡町三日市</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>青木 紘</p>	<p>① 立野</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>高畠義一</p>
<p>① 二塚</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>舘 勇将</p>	<p>① 伏木古府三丁目</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>荒木泰行</p>	<p>① 戸出吉住</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>大井正樹</p>		
<p>① 川原町</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>山沼茂敏</p>		<p>① 本町</p> <p>② 自民同志会</p> <p>③ 3回</p>  <p>畠 起也</p>		

議場見取図



補正予算・条例・意見書など

26議案を可決・同意

代表・個別・総括質問に

18人が登壇

12月定例会は3日に開会し、18日に閉会しました。

市長から平成25年度一般会計補正予算や水道事業及び下水道事業の組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例をはじめ25議案が、議員から意見書2議案が提出され、うち、26議案を可決・同意しました。

今定例会では、代表・個別・総括質問に18人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した主な議案等

条例

■風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正

風致地区内における建築等の規制に係る条例の制定に関する基準を定める政令の改正に伴い、面積10ha以上の風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定権限が市町村に移譲されることから、所要の改正を行うもの。

■火災予防条例の一部改正

消防法施行令が改正され、消防用機械器具等の検定対象品目が見直されたことに伴い、引用条項の整理を行うもの。

■水道事業及び下水道事業の組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例

平成26年4月からの上下水道事業の組織統合に伴い、所要の改正を行うもの。

その他

■指定管理者の指定について

ふれあい福祉センター、醍醐デイサービスセンター、伏木老人福祉センター、東部老



消防力の充実・強化を目指して

人福祉センター、牧野老人福祉センター及び西部老人福祉センターの6施設について指定管理者を指定するもの。

■高岡地区広域圏事務組合規約の変更について

新ごみ処理施設の設置に伴い、高岡地区広域圏事務組合の共同処理する事務及び事務所的位置を変更するため、規約を一部変更するもの。
位置の変更

高岡市広小路7番50号
↓氷見市上田子字笹谷内50番地（施行日 平成26年10月1日）

議決結果一覧

■初日提出議案

平成25年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇国民健康保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇下水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇農業集落排水事業会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇後期高齢者医療事業会計……………全会一致で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇簡易水道事業会計……………全会一致で可決

条例

- ◇風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇火災予防条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇水道事業及び下水道事業の組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例……………全会一致で可決

その他

- ◇指定管理者の指定（6件）……………全会一致で可決
- ◇訴えの提起……………全会一致で可決
- ◇高岡地区広域圏事務組合規約の変更……………全会一致で可決

*風致地区：都市における風致（都市において水や緑などの自然的な要素に富んだ土地における良好な自然的景観）を維持するために定められる都市計画法に規定する地域地区。

人事

人権擁護委員

鎌谷 克彦氏（再任）

（蓮花寺）

清水 了成氏（再任）

（下牧野）

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

■ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

わが国にはウイルス性肝炎の患者が合計350万人以上と推定され、国内最大の感染症となっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成はインターネット治療と、核酸アナログ製



緑あふれる都市景観の保全を 瑞龍寺

剤治療に限定されており、重篤化した肝硬変・肝がんに対する治療自体についての助成制度が存在しない。そのため、重度の病態により就労困難な患者の多くは経済的に苦しい中で高額な医療費を負担せざるを得ず、生活に困難を来している。

また、現在の障害者手帳の認定基準は、肝硬変・肝がん患者をはじめ肝疾患患者の病状に合致する基準となっており、支援が必要な病態にある大多数の患者が認定を受けることができない状況にある。

現在、ウイルス性肝炎が原因で多くの方が亡くなられている中、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援制度の創設は緊急に取り組むべき課題であるが、国においては具体的な措置が講じられていない。

よって、ウイルス性肝炎患者の救済のため、次の事項について速やかに実現するよう強く要望する。

一 ウイルス性肝炎肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。

二 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳交付の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

11月臨時会

人事

教育委員会委員

長谷田 祐一氏（新任）

（木津）

水見 哲正氏（再任）

（川原町）

監査委員

玉井 隼也氏（新任）

（中川本町）

館 勇将議員

■ 公平委員会委員

齊藤 周子氏（再任）

（末広町）

最終日追加提出議案

人事

◇人権擁護委員の推薦（2件）……………全会一致で同意

議員提出議案（意見書）

◇ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書……………全会一致で可決

◇特定秘密保護法に反対する意見書……………賛成少数で否決

請願

◇要支援者・要介護者に対する介護給付継続と利用者負担増の中止を求める意見書提出を求める請願（全日本年金者組合高岡支部 支部長 小谷一郎）……………賛成少数で不採択

11月臨時会

人事

◇教育委員会委員の任命（2件）……………全会一致で同意

◇監査委員の選任（2件）……………全会一致で同意

◇公平委員会委員の選任（1件）……………全会一致で同意



家持くん

利長くん

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会
田尾 起也

文化創造都市への取り組み

問 ポスト新幹線をにらみ、新たな高岡の魅力づくりとして、文化創造都市高岡の実現に向けた取り組みを行おうとしているが、どのように実践していくのか。

市長 文化創造都市高岡推進懇話会やプロモーションセンター



新たな歴史的拠点を創出 御車山会館

ムにおいて、ビジョンや具体的なあり方について検討している。本市としては、高岡の歴史的拠点として建設中の御車山会館を文化創造の実践の場としたいと考えている。また、新たな創造的な活動・交流拠点として、金屋町に鋳物工房を創設する構想の策定を進めている。今後、文化創造のためのパイロット的な事業の実践・展開を進め、懇話会での議論も踏まえ、さらなる創造の場づくり、子どもたちや若手アーティストなど文化創造を担う人づくりなど、文化創造のキーとなるプロジェクトを推進したい。

新高岡駅周辺の駐車場料金

問 新幹線開業が迫る中、飛越能の玄関口として整備が進められている新高岡駅周辺における市営駐車場の駐車台数及び料金体系について、どのように考えているか。

市長 立体で約450台、平面で約350台、計約800台の駐車場を確保する予定である。また、利用状況を表し

た電光掲示板、歩行動線のシエルト、平面駐車場への消雪装置の設置など利便性も考慮していきたい。料金体系については、平面のパーク&ライド用駐車場は、12時間100円、24時間200円。立体駐車場は、12時間500円、24時間600円と低廉な料金設定にした。加えて、開業時から当分の間は、新幹線利用者については200円の割引制度を導入することし、平面のパーク&ライド用駐車場は、実質、24時間まで無料としたい。

万葉線延伸の考え方

問 現在策定中の総合交通戦略において、本市の重要な公共交通機関である万葉線の延伸についての考え方は。

市長 万葉線の延伸については、昭和町方面、新高岡駅方面、二上方面など様々な方面への要望や提案があり、特に昭和町方面については、市民レベルでの様々な議論の展開がなされている。現在、これらの延伸ルートについて、国

や県、交通事業者の実務担当者により検討会を設置し、それぞれの技術的課題、建設コストや運行コスト、延伸の効果、また、事業可能性などについて、専門的な見地から意見を聴取しているところである。これを踏まえ、現在、策定中の総合交通戦略において、万葉線の延伸を重要課題として位置付け、関係機関との協議を通じて、実現の可能性を追求し、取り組みを進めていきたい。

防災まちづくり計画の目的

問 平成24年度に実施したJR高岡駅周辺のまちなかエリアにおける空き家・空地等の現況調査を踏まえ、25年度はモデル地区を選定し、防災まちづくり計画を作成する予定とあるが、その狙いは。

市長 防災・減災のまちづくりのためには、地域と行政が合意形成を図りながら進めていくことが必要である。まちなか再構築についても、住民が主役の対話の場を設け、防災の視点から、地域の現状や課題の認識を共有するとともに、その過程・結果を反映した計画を策定し、地域住民との協働で密集市街地の改善に取り組みすることが必要と考えて

いる。今後、具体的な対応策を検討し、その計画をベースにまちなか居住や緊急浸水対策行動計画の観点を加え、まちなかエリア全体の総合的な指針となる取り組み方針を作成したい。

不断の行財政改革推進を

問 地方交付税の別枠加算の廃止など、本市の財源確保がより厳しくなると考える。新たな時代に向けた施策推進のため、今後、どのように行財政改革を進めていくのか。

市長 新幹線開業により大きく飛躍しようとしている今、時代の要請に応じた施策を行うためには、引き続き行財政改革に取り組んでいく必要がある。事務事業の見直しなど従来の視点に加え、今後、更新時期を迎える公共施設・インフラの長寿命化をはじめとして、持続可能な財政運営を見据えた戦略的な都市経営の観点がポイントになってくると考えている。行財政改革は不断のテーマであるということを再認識し、平成26年度までの現行のアクションプランの貫徹を図るとともに、27年度からの新たな行財政改革推進方針の策定に向けた検討に着手したい。

個別質問

今定例会では、11人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中 一夫
自民同志会

障害者の就労支援

問 本市では、平成25年度の障害者就労施設等からの物品等の調達目標を370万円以上としているが、その達成に向けた具体的な取り組みは。

福祉保健部長 調達目標を達成するため、障害者就労施設の関係者や市の担当者からなる会議を開催し、就労施設等に対し品質向上や新商品開発、物品等の情報提供及び供給の円滑化等を依頼していくこととした。本市の各部署でも積極的な取り組みを要請しており、目標達成はもとより、障害者就労環境の充実に努めたい。

問 富山市がこども医療費の通院助成対象を中学校3年生までに拡充する方向の検討方針を示したが、本市はどのように受け止めているのか。

こども医療費助成の拡充を

福祉保健部長

本市の子育て支援の考え方は、出生前から乳幼児期、さらに就学後までを一貫して切れ目なく、それぞれの子どもの置かれた状況に応じて多様で良質な生育環境を保障することが基本である。助成拡充については総合的な子育て支援策の構築という考え方のもと、県内他市の状況も踏まえ、今後のあり方について検討したい。



健やかに育つことを願って 3歳児検診



福井 直樹
自民同志会

新高岡駅アクセス道路整備

問 下伏間江福田線の京田踏切から国道156号・卸売市場口の区間の片側2車線化を含め、車で新高岡駅を利用する人の利便性向上のためのアクセス道路の整備状況は。

建設部長 主に、環状道路としての下伏間江福田線、中川和田線や高岡砺波インター線や戸出石代川原線、駅南一丁目二塚線をはじめ、下伏間江13号・19号の整備を進めている。これら新高岡駅へのアクセス道路の整備は、概ね順調に進捗しており、新幹線開業までには全て供用開始できる予定である。

問 国の5年後のコメの減反廃止の方針に対し、安定的な農業経営のための支援を国に積極的に働き掛けるべきと考えるが、見解は。

減反廃止に伴う支援を

市長

国のコメ政策の転換には、コメの需要と価格の安定が図られることが不可欠であり、国において農家が混乱しないような施策構築を図るとともに、将来の農業経営の姿を示すべきと考えている。今後も農業者が、高岡産米の生産を中心として安定的な経営を展望できるよう、持続可能な水田農業政策の拡充を国等に強く求めていきたい。



中山 欣一
市政高岡

公共データの活用を

問 本市が保有する公共データをオープンデータとして積極的に公開していくことは、市政の信頼性の向上や市民協働の推進、また、成長戦略の一つとして地域経済の活性化につながると思うが、見解は。

経営企画部長 本市が公開している情報は、二次的な処理が困難なデータ形式であることから、十分に活用されていない状況である。オープンデータの推進には、利活用可能なデータ形式での公開と利便性の整備が必要である。民間のビジネス創出等のニーズに応えるためにも、市内の

認知症カフェの設置を

問 認知症の人と家族、地域住民や専門職などの誰もが集う場である認知症カフェの取り組みを、本市としても検討すべきと思うが、見解は。

福祉保健部長 認知症カフェは、医療や介護の専門職や地域住民の参加を得ることで、認知症への理解がさらに深まり、在宅での生活が継続できるものと期待している。本市でも、認知症カフェの取り組みは有効であると考えており、平成26年度からの導入に向けて検討したい。



本田 利麻
自民同志会

通学路の安全対策の進捗は

問 平成24年度に実施された通学路の点検調査において、改善が必要とされた危険箇所についての改修は、どの程度進んでいるのか。

教育長 市道に関して緊急に対策が必要な24カ所については24年度から改修を進めており、これまで、17カ所で改修が完了した。残る7カ所につ

いては、25年度から3カ年の計画で国の交付金などを活用し、対策事業を実施することとしている。国・県道についても、関係機関と連携して対策事業の推進に取り組んでいきたい。

ハイブリッド電車の導入を

問 万葉線の延伸などについて、ハイブリッド電車の導入に向けての今後の考え方と進め方は。

生活環境部長 現在策定中の総合交通戦略では、環境負荷の低減効果があり、架線のない区間等でも運行が可能なハイブリッド電車の活用も想定しており、万葉線株式会社と研究を続けている。実走による試験調査については、環境配慮型ハイブリッド電車を所



ハイブリッド電車導入の可能性を検討

有する鉄道総研や国・県などと必要な条件整備等について、現在事前の協議・検討を行っている段階である。



坂林 永喜
自民同志会

浸水対策への国の支援

問 緊急浸水対策行動計画が平成25年度の国土交通省の100mm/h安心プランに登録されたが、本市の浸水対策事業に対して国からどのような支援が見込まれるのか。

建設部長 ハード対策としては、地久子川などの河川改修への交付金による重点的な支援や流域貯留事業を実施する際の補助要件の緩和のほか、ソフト対策としては、交付金による水防訓練等への支援が見込まれる。このような支援を活用し、本計画に掲げる諸事業を、官民一体となって着実に推進したい。

地域福祉ネットワークの進捗

問 子どもから高齢者まで安全・安心で健やかな生活を送ることのできる地域福祉ネットワークの進捗状況は。

市長 平成24年度から本市独自の高岡あつまり福祉ネット

推進事業に取り組んでおり、小学校区を単位として、24年度は3地区で実施し、25年度は6地区を指定した。それぞれの地区の特性に合わせ、組織づくりやニーズの把握とその解決方法を検討し、実践として声掛け・見守り支援活動などに取り組んでいる。28年度までに市内27地区全てにおいて実施していきたい。



吉田健太郎
公明党

いじめ防止基本方針策定を

問 いじめ防止法に基づく国の基本方針では、地方自治体において、地方いじめ防止基本方針の策定は努力義務となっているが、本市の対応は。

教育長 法律の趣旨を重く受け止め、教育委員会が中心となり、平成25年度中を目標に、基本方針の策定に取り組んでいる。今後、市の基本方針や各学校の基本方針の策定を契機に、教職員の意識を高め、保護者等とも連携しながら、いじめのない学校づくりの一層の推進などに取り組みたい。

文化創造都市の実現を

問 文化創造都市の実現に向

け、プロモーションチームを発足し、平成25年10月に新規事業などが提案されたが、実現に向けた課題と決意は。

市長 課題としては、知る・つなぐ・体験する・子どもというキーワードを核とした事業の構築や、幅広い分野が互いに連携する事業の推進などが求められている。また、取り組みとしては、芸術文化やものづくりと幅広い分野とのコラボレーションを進める先導的な事業を提言・推進していきたい。加えて、金屋町に鋳物工房の創設のための構想策定に取り組むなど、創造の場の構築を進めていきたい。



横田 誠二
自民同志会

予算編成のあり方は

問 限られた財源の中で、最大限の効果をj得るためには、施策ごとに財源を枠配分することが必要であり、総合計画と連動し施策を選別すべきである。平成26年度以降の予算編成のあり方は。

市長 26年度予算編成では、政策議論の中で既存事業の成果評価を行い、政策目標の明確化と実現に努めており、そ

の成果を予算に反映したい。また、部局別枠配分予算の中で、文化力プラスワン要求等の政策課題に挑戦した事業等は予算編成上重点的に配慮したい。今後とも、実効性のある予算編成を心掛けたい。

スポーツ競技環境の改善を

問 スポーツの競技人口拡大やレベル向上には底上げが必要であり、スポーツ少年団の育成が重要と考える。複数競技が同時に開催できる競技施設を整備し、競技環境の改善を。

教育長 スポーツ少年団の活動は、競技人口の拡大に大きな貢献を果たしていると認識しており、今後も支援したい。複数競技に対応可能な施設については、平成25年度策定の牧野地区河川公園整備基本構想の中でも検討している。今後、河川環境の整備を図るとともに、スポーツ施設の充実にも努めたい。



中川加津代
自民同志会

保育料の負担軽減を

問 保育料の軽減は、子育て世代を積極的に支援していく

大事な施策の一つと考える。保育料の軽減を行うために、市の負担割合を上げる余地はないのか。

福祉保健部長 本市では、低所得者層から中間所得者層までについて軽減額を大きくするほか、階層区分を細分化することで年度ごとの保育料が大幅に増減しないよう配慮している。現在、国において保育料徴収基準の大幅な見直しを検討しており、本市においても保育料の軽減については、総合的な子育て支援に係る施策全体の中で検討を進めていきたい。

老人クラブ加入率の向上

問 老人クラブへの加入率が減少している原因をどのように捉えているか。また、クラブの加入促進や活動支援と今後の対応についての見解は。

福祉保健部長 加入率減少の主な要因としては、新しい価値観等を持つ団塊世代の多くが加入に消極的なことが考えられる。本市では、まちづくり活動などの連携により、老人クラブへの理解を深め、会員の増加につなげていきたい。また、全国の事例も参考に生かしながら積極的に参加できる活動のあり方等についても検討していきたい。



安力川武憲
自民同志会

3Dプリンターの利活用

問 3Dプリンターを伝統産業や伝統工芸に利活用することで、魅力ある商品を生み出すことも可能と考えるが、本市の見解と今後の方針は。

産業振興部長 鋳物の原型などに3Dプリンターを活用することで、製造工程の短縮・効率化や、高精度な製品の開発も期待できると考える。しかし、活用に当たっては3次元データを構築するための知識や技術が必要であり、人材育成の検討とともに、県工業技術センター等との連携を図



3Dプリンターで伝統産業に新たな可能性を 県総合デザインセンター

りながら、3D技術を活かした新商品開発等を支援したい。

火災被災者の負担軽減を

問 火災被災者の精神的負担を軽減するため、被災証明の発行など火災後に必要となる各種手続きが一覧できる分かりやすいパンフレットを作成し、丁寧な説明をすべきと考えるが、見解は。

総務部長 申請手続きは、目的に応じてそれぞれの窓口で行う現状であることから、被災者の負担を少しでも軽減するため、必要な手続きを記載した分かりやすいパンフレットの作成は、大変重要と考える。今後、早急に作成の準備を進め、災害救援物資などの配布の際に配布していきたい。



上田 武
社民党議員団

安全な電停整備を

問 事故が頻発している万葉線新吉久電停を、利用者が安全で安心して利用するために、交通島電停を設置し、それに伴う道路拡幅を県への重点要望に加え、強く要望すべきでは。

生活環境部長 交通島電停の

設置には、国の基準により、幅や高さ等が規定されているため、道路の拡幅が必要になるものと考えている。今後、安全に安心して万葉線を利用できるように、交通島電停の設置のために、県への重点要望に加えることも考慮し、万葉線株式会社とともに、道路の拡幅について要望したい。

本市の原子力防災対策

問 地域防災計画原子力災害対策編を早急に改定し、それに連動した避難計画を作成しては。また、本市独自の防災訓練を実施しては。

総務部長 平成25年8月に計画の前提となるPPAの導入について国へ要望したが、具体的な方針が示されていない。このような中で、本市独自の避難計画の作成や防災訓練の実施は難しいと考えている。現時点では対策本部を含めた本市の体制などについて見直しを行うこととし、本部運営訓練なども実施していきたい。



野上 達夫
社民党議員団

人口増対策の強化を

問 人口増対策として、様々

な施策を展開しているが、平成32年の目標人口17万人を達成するためにも、施策の一層の強化が必要と考えるが、見解は。

市長 都市の総合力を高めることが人口増対策であると考える。住まいの確保や働く場の確保や子育て環境の充実などを中心に、市民のライフステージに対応した各種施策を総合的に推進してきた。これらの施策により、23年には社会動態がプラスに転じるなど、人口減少に一定の歯止めをかけることができたと考えられる。今後も定住政策を総合的、体系的に展開し、元氣なふるさと高岡づくりにまい進したい。

スタディ・メイトの充実を

問 発達障害児支援としてスタディ・メイトが配置されているが、体制強化のため勤務時間や賃金の改善、増員配置についての見解は。

教育長 賃金の増額については、対応が必要な児童生徒の数の増加に伴い、配置数を増やしてきている事情もあり、難しいと考える。また、増員配置については、学校からの配置要望数が増えている実情を勘案し、学校の状況もみながら、平成26年度以降の配置を考えた。

* P P A : 放射性物質を含んだ空気の一団の通過に備えて防護措置を実施する区域。原子力施設からおおむね50kmの地域。

総括質問

今定例会では、6人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



川島 国
自民同志会

ふるさと納税の活用を

問 消費税増税により節税意識が高まる中、税込納税の活用は、効果的なシティーセールスにつながるかと考える。本市特産品を活用した特典付きふるさと納税を導入すべきでは。

市長 本制度の内容をしっかりと周知し、高岡のまちの魅力などを広く知らせることを通じ、ふるさと納税の利用促進を図りたい。本制度の趣旨からして、過度な特産品等の特典を付することはかなりでなく、どのようなインセンティブが有効か今後検討していきたい。

藤子氏の世界観の継続発信

問 ドラえもんに代表される本市ゆかりの漫画家藤子・F・不二雄氏の関連事業を、永続的に発信し続けていくため、平成26年度以降も藤子氏の世界観発信につながる取り

組みを模索すべきでは。

市長 本市では、これまで、ドラえもんトラムの運行やドラえもんポストの制作など藤子氏に関連した取り組みを連続して展開している。また、ドラえもんトラムの運行延長の期間中に、新幹線開業を迎えることから、多くの来訪者を念頭に置き、夢や希望、友情など藤子氏の世界観を先生のおふろさと高岡として、より多くの人々に、継続的に発信したい。



金平 直巳
日本共産党

消費税増税への見解は

問 消費税を8パーセントに増税することは、消費・中小企業経営・市財政・農業等の地域経済に大きなダメージを与えるかと懸念するが、見解は。

市長 国は、平成25年12月の経済対策において、1兆円規模の税制措置等と併せ、5・5兆円規模の経済対策を行うこととしている。具体的施策としては、低所得者や子育て世帯等への影響緩和、駆け込み需要及び反動減の緩和や、農林水産業や中小企業、小規模事業者の活力発揮などの競争力強化策が挙げられている。これらの対策により、厳しい地域経済への影響が緩和されるものと考えている。

医療費無料の拡大を

問 こども医療費無料化については、通院費も中学校3年生までに拡大しては。

市長 本市では、一貫して切れ目なく、子どもたちの状況に応じて多様で良質な成育環境を保障することが子育て支援の基本と考えている。こども医療費助成制度については、総合的な子育て支援策の構築の中で、適切に必要な医療の確保のほか本市がこれまで取り組んできた助成拡大に伴う効果や受診動向の変化等の検証、持続可能な制度運営のための検討等を通じて、今後のあり方について検討したい。



樋詰 和子
公明党

子育て支援の拡充を

問 子育て支援策の充実策として周辺市が実施し、富山市でも実施が検討されている中学校3年生までの通院医療費助成の拡大についての本市の考えは。

市長 本市の子育て支援の考え方は、出生前から乳幼児期、さらに就学後までを一貫して切れ目なく、子どもたちの状況に応じて多様で良質な成育環境を保障することが基本である。こども医療費助成制度については、総合的な子育て支援策の構築の中で、医療提

供の機会の確保のほかこれまでの助成拡大の効果や受診動向の変化等の検証、さらには持続可能な制度運営なども考慮しながら検討したい。

工場跡地の活用

問 LIXIL高岡工場跡地の活用は、まちづくりの大きな起爆剤になると考える。企業からは、住宅や商業施設などにぎわいのまちづくりを検討したいとの説明があり、本市としても都市計画の変更に柔軟な対応が必要と考えるが、見解は。

都市整備部長 工場跡地の活用については、現時点では事業者から相談は受けていない。今後、事業者から具体的な開発計画に関する相談を受けた時点で、事業者の意向も聞きながら、適切に対応したい。



石須 大雄
社民党議員団

建設部を本庁舎に

問 合併協議を受け、建設部を福岡庁舎に配置することになったが、関連部局と建設部との協議等のため、職員による本庁舎と福岡庁舎の往復には、時間と経費が掛かり、非



運行期間が延長されるドラえもんトラム



京田踏切 拡幅により新高岡駅周辺道路の利便性向上を

副市長の定数条例改正を
副市長 市長は、福岡担当副市長について、合併当初の役割は概ね果たしたとの判断から再任せず、副市長を一人体制と

常に効率が悪いと考える。効率的な運用のためにも、建設部を本庁舎に戻すべきでは。
市長 現在、福岡庁舎に置かれている建設部の所属各課の配置については、合併後のこれまでの経過や情勢等を踏まえつつ、簡素効率的で効果的な事務執行や均衡ある行政サービスの提供などの観点から、今後、全庁的な組織機構の再編整備を図る中で、検討していきたい。



盤若 進二
 自民同志会

京田踏切の拡幅を

したが、必要がなければ、定数条例の改正を提案すべきである。定数については、議会の議決を経て二人体制としたことから、一人体制としたならば、早急に条例改正を行うべきでは。
市長 副市長の体制については、引き続き、本市を取り巻く状況を見極め、適時適切に判断していきたいが、当面は条例改正の提案をしないものと考えている。

副市長 新高岡駅の利用者のためのアクセス道路は、新幹線開業までに全てが供用開始されると聞いている。新幹線を利用して本市を訪れる来訪者へのおもてなしの観点からも、2車線の狭い状態である京田踏切は、新幹線開業を迎えるまでに拡幅が必要と考えるが、見解は。
市長 本市では、新高岡駅のアクセス道路として、幹線道路網の整備を鋭意進めており、新幹線開業までには、一部暫定区間はあるものの、全て供用できるものと考えている。

その上で、隘路となる箇所については、段階的・計画的に整備に努めたい。京田踏切については、新高岡駅に隣接しており、現状が2車線であることから、早期に4車線での地下式立体交差化を図ってほしい。
副市長 新幹線の開業後に、京田踏切の地下式立体化を行うことは、長期間の工事も想定され、新高岡駅の利用者に不便をかけるといった問題もあると考えるが、見解は。
建設部長 京田踏切の地下式立体化については、新高岡駅周辺の道路網を念頭に置きながら、スムーズな交通の確保に努め、工事中においても、現状の2車線での通行を確保しつつ、工事を実施できる工法を検討していきたい。



四十九清治
 市政高岡

にぎわい創出への市民参加

副市長 中心市街地活性化基本計画の策定に当たっては、中心市街地活性化協議会の構成員ではない事業者の意見や市民のニーズを取り入れる仕組みはあるのか。
産業振興部長 計画の策定に当たっては、市民やまちなか居住者等を対象としたアンケート調査の実施やホームページによる意見の募集を行うことにより、市民ニーズを取り入れている。また、商工会議所や商店街組合の代表者が協議会に参加することで、商業

者の意見も取り入れられる仕組みとしている。
広域連携による消防力強化
副市長 消防救急デジタル無線を本市単独での整備ではなく、水見市、砺波地域消防組合との共同での整備としたが、その経緯と効果は。
消防長 消防指令事務の共同運用に伴い、県西部消防指令センターで災害受付から出動指令に至る全ての指令管制業務を行うことから、指令管制に必要な無線設備のデジタル化も共同整備した方が、効果を高めることができるかと判断した。また、共同整備により経費節減も図られ、整備費で約1億1000万円、年間の維持管理費で約1000万円の節減が見込まれる。

議会日誌

9月定例会後～12月定例会前

- 10月 8日 広報広聴委員会
- 27日 市議会議員選挙投票日
- 28日 議員事務説明会
 新人議員説明会
- 11月 6日 世話人会準備会
- 11日 代表者会議
- 12日 世話人会
- 20日 議員協議会
 本会議（正副議長選挙等）
 議会運営委員会
 民生病院常任委員会
 経済消防常任委員会
 建設水道常任委員会
 総務文教常任委員会
 港湾対策特別委員会
 新幹線・公共交通対策特別委員会
 歴史文化・広域観光対策特別委員会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 正副常任委員長会議

12月定例会

- 12月 3日 議員協議会
 本会議（提案理由説明）
 議案説明会
- 5日 本会議（代表質問）
- 9日 本会議（個別質問）
- 10日 本会議（個別質問）
- 11日 議会運営委員会
- 12日 本会議（総括質問）
 議会運営委員会
- 13日 代表者会議
 民生病院常任委員会
 経済消防常任委員会
- 16日 議会運営委員会
 建設水道常任委員会
 総務文教常任委員会
- 18日 委員長会議
 議会運営委員会
 議員協議会
 本会議（議案など議決）

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次のような観点から当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆荻布学生寮の男子寮の屋上防水工事は、台風が原因の雨漏りのため実施することだが、台風が原因であれば保険で対応すべきでは。

◆スポーツ健康センターに隣接する農道の舗装工事が補正予算で計上されているが、当初予算で想定はしていなかったのか。

◆長慶寺室内プール熱源改修工事による施設の休館は予定されているのか。休館となれば、



夢を届けるドラえもんポスト

ば、講座や教室などで利用率の高い施設でもあるので、利用者に対する周知を徹底すべきと思うが、見解は。

○民生病院常任委員会

◆放課後児童育成クラブのあり方は、国において検討され

ているということであるが、現在も場所の確保などの問題に直面しており、早急に対応を検討すべきと考えるが。

◆福岡地域において、寺子屋サロンを開催しているが、放課後児童の対応は、部局横断的に幅広い支援を行うことが必要であると考えますが、どのように対応していくのか。

◆高齢化が進む中、認知症対策として早期発見・早期対応が必要であるが、現状は順調に進んでいないと感じている。本市では、どのように医師会と連携した認知症対策に取り組んでいるのか。

○経済消防常任委員会

◆農地利用集積事業費が補正予算で計上されているが、平成25年度の集積面積は。

◆(仮称)高岡駅前地下街交流・情報発信事業費や高岡ステーションビルオープニング記念事業費といった補正予算が計上されているが、現高岡駅の顔となる高岡駅前や地下街のリニューアルに係る重要案件である。その詳細は。

◆消防救急無線デジタル化整備事業費が補正予算に計上されているが、一般的に消防救急デジタル無線の耐用年数はどの程度なのか。

○建設水道常任委員会

◆今回の補正予算において、駐車場使用料収入が15万2000円の減額となっているが、その内容は。また、平成24年度の収支と比較して25年度の収支の見通しは。

◆平成27年春の新幹線開業

は、現高岡駅周辺の駐車場需要に影響を与えると考えるが、今後の駐車場需要の動向についての考えは。

編集後記

去る平成25年10月に高岡市議会議員選挙が執行され、4年間の新たな任期が始まりました。

議会は、市民福祉の向上と市政の発展に寄与し、常に地方自治の本旨の実現を使命として活動するものであり、市民の皆さまへの説明責任を果たすため、多様な媒体を用い、分かりやすく開かれた議会を目指さなければなりません。

そのため、市議会だよりを発行するものであり、改選後の新たな広報広聴委員会の一員として、編集作業に当たらせていただきました。

今後もお愛読していただけますよう、市民の皆さまの立場に立った分かりやすい編集を心掛けてまいりますので、よろしくお願いたします。

(横田記)

★編集委員

◎川島、○水口、横田、藪中、安カ川、野上、中山、金森、金平、樋詰

(◎委員長 ○副委員長)

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月21日(金)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

3日(四)	11時	議員協議会
	13時	本会議 (市長の提案理由説明)
5日(四)	13時	本会議 (追加提案理由説明)
6日(四)	10時	本会議 (代表質問)
10日(四)	10時	本会議 (個別質問)
11日(四)	10時	本会議 (個別質問)
12日(四)	10時	議会運営委員会
13日(四)	10時	本会議 (総括質問)
14日(金)	10時	民生病院常任委員会
	10時	経済消防常任委員会
18日(四)	9時	議会運営委員会
	10時	建設水道常任委員会
	10時	総務文教常任委員会
20日(四)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案・意見書など議決)

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
25年 3月	60人	9人
25年 6月	32人	8人
25年 9月	79人	2人
25年12月	113人	6人